

高屈折材料(チタンオリゴマー) コーティングにより微細構造等 に皮膜形成可能

低次元成長オリゴマーは緻密に硬化
することで高屈折率化します。

屈折させる。

高屈折率コーティング剤（薄膜タイプ）

	屈折率(633nm)	膜厚 (nm)	国内化審法
オルガチックス PC-200	1.81	90	既存化学物質
オルガチックス PC-250	1.88	20	少量新規 化学物質

特長

オリゴマー(ゾルゲル法)+Ti-ORの高い反応性

- 低温・短時間で均一な膜を形成!
- ウェットプロセスで塗布可能

イメージ動画



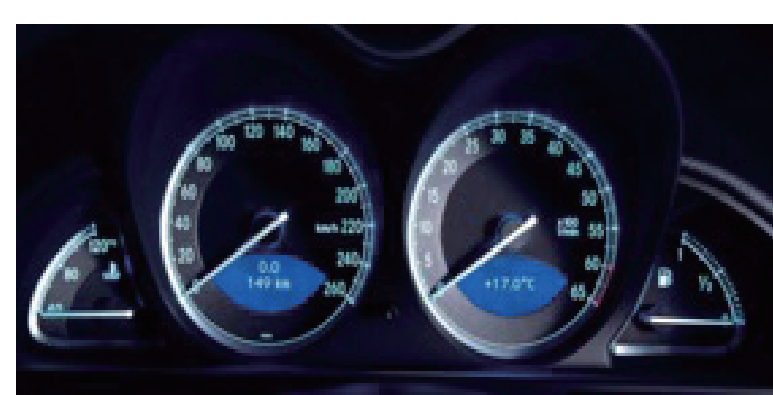
技術資料



用途

- ・反射防止
- ・輝度向上
- ・骨見え防止

などの屈折率調整に



インパネ



有機EL照明



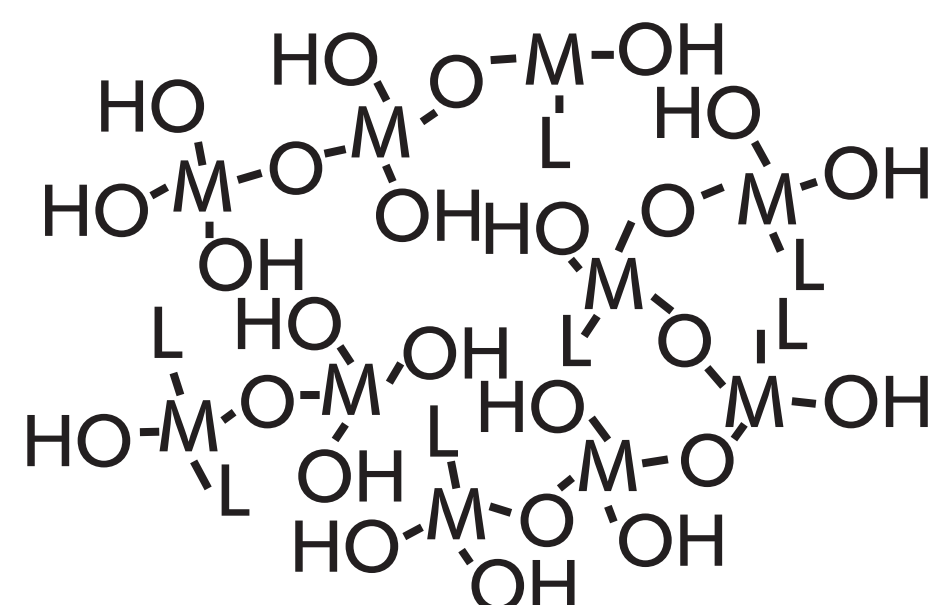
スマホ・タブレット

反射防止

(イメージ)

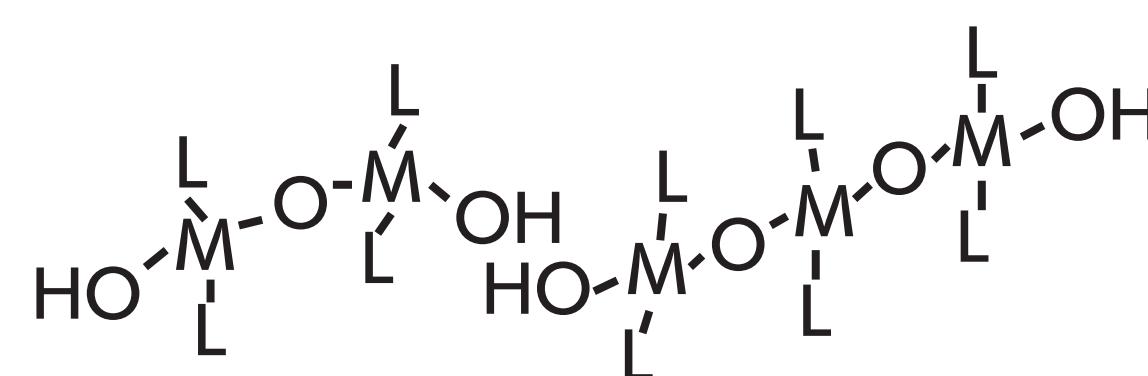
技術背景

オルガチックスPC-200



高次元成長オリゴマー

オルガチックスPC-250



低次元成長オリゴマー



マツモトファインケミカル株式会社



宇都宮大学

宇都宮大学 地域創成推進機構 産学イノベーション支援センター
先端計測分析部門部門長 松本 太輝 准教授